



【特集1】②

来春開設! 公共政策学科が目指すもの

(設置届出済)

【特集2】⑥

経営学部強化への取組

- ⑧ 輝け! アスリートたち
- ⑩ 学びのフィールドを広げて
- ⑪ キャリア支援課だより
- ⑫ がんばろう日本!! ~東日本大震災に寄せて~
- ⑬ 研究室だより
- ⑭ 教育最前線「岐阜県商工会連合会との連携協定締結」等
- ⑮ キャンパス彩々
- ⑯ オープンキャンパス日程／父母懇談会日程／教職員人事



来春開設! 公共政策学科が目指すもの

(設置届出済)

来春(2012年4月)、現行の経済学部臨床福祉コミュニティ学科を改組して、「公共政策学科」を開設します。

公共政策学科に 期待すること

学長 谷江 幸雄



新学科の抱負に先立ち、このたびの東日本大震災により、お亡くなりになられた方々に心よりお悔やみを、また、いまなお不安な毎日を送られている被災された皆様へ、謹んでお見舞いを申し上げます。一日も早く復興できますよう、本学としても出来る限りのことをしてまいりたいと思います。

さて、本学は、2012年4月に経済学部のもとに「公共政策学科」を開設します(設置届出済)。本学科は、「協働」と「共生」にもとづく新しい地域づくりの理論と実践を学び、卒業後は公務員など広く公共分野で活躍する人材を育成する学科です。

いま、地域社会は、グローバル化や少子・高齢化のもので大きな変化にさらされています。昨年「無縁社会」という言葉が流行語になったように、都市でも農村でも、地域コミュニティが崩壊し、人と人のつながりが希薄になっています。今日ほど、自治会などの各種のコミュニティやNPO法人、企業の社会貢献活動等々、市民一人ひとりが「公共の志」をもち、行政とともに新しい地域社会を構築していくことが求められている時代はありません。

本学は、1967年に、大垣市を中心とする地元の自治体、産業界、教育界の支援を受けて創設されました。このような創設の経緯から明らかのように、本学は、「地域との共生」を建学の精神として教育理念とし、地域に有為な人材の養成にとめてきました。その意味で、新しい地域社会の担い手を育成する公共政策学科の開設は、地元の方々に恩返しができる、その絶好の機会になるものと考えています。

2年前に経済学部企業人育成コースを設置しました。これは、西濃運輸、イビデン、太平洋工業、大垣共立銀行など地元の有力企業17社のご協力を得て、企業幹部の方々にも講義をしていただくものです。こうした企業人育成コースに加え、今回の公共政策学科の開設を機に、公共マネジメントコースを設置し、市や県など自治体の幹部の方々にも講義をしていただく予定です。また、1〜4年生の一貫した「公務員養成プログラム」を用意し、公務員試験のための準備教育も徹底します。さらに、社会福祉コースを設置し、ひきつづき社会福祉士など地域の福祉を担う人材を育成します。これらのコースやプログラムでは、文字どおり、地域の要請と大学の教育がむすびつき、就職への道も開けます。

今回の未曾有の大震災は、市民の命を守る防災と医療・福祉の地域づくりをいかに進めるか、原子力行政、エネルギー政策をいかに練り直すかという大きな課題を投げかけています。新設の公共政策学科においては、こうした課題を正面から受けとめ、地域の方々とともに解決の道を考え、実践していったほしいと願っています。

公共政策学科が現代社会から求められているもの

2012年春、臨床福祉コミュニティ学科を発展的に改組し、公共政策学科を新設します。現代社会を取り巻く環境は、劇的に変化し、「国際化」・「複雑化」・「多様化」といった様々な課題がみられるようになりました。例えば、少子高齢化、雇用、教育、環境といった問題が挙げられます。また、高齢者の孤立死や所在不明高齢者の存在が明るみに出るなど、「無縁社会」も問題となっています。このような現代社会における様々な課題を真正面から受け止め、地域の福祉社会を築いていくには、行政や地域コミュニティ、企業など分野横断的に様々な公共政策との協働が必要不可欠となります。そのような社会状況を鑑み、より広範な鳥瞰的視座から、「公共課題」を捉え適切に対応のできる人材の育成が、社会的にも喫緊の課題となっています。本学では、地域社会の課題を捉え、政策を立案し、新しい「公共政策」を切りひらく人材を育成することを目指します。



コースの紹介 公共マネジメントコースと社会福祉コース



公共マネジメントコース

将来において公共部門の担い手、すなわち広い意味の公務員 (Public Servant) として社会に貢献するコースです。地域の課題を発見し、それを解決する政策立案能力や行政と市民との有機的連携を構築する力を養います。そのために行政学や地方自治論、公共政策論、地域経済論などを深く学びます。

社会福祉コース

将来において地域福祉の担い手として社会に貢献する人材を育成するコースです。地域の生活課題を発見し、人々を援助し、すべての人々が自立した人間として生きることができる地域社会を構想し、実践する力を養います。そのために、地域社会の経済社会全般を深く学ぶとともに、福祉学を広く学びます。本コースでは、社会福祉士国家試験受験資格が得られます。

現代の地域社会が抱える身近な課題について、市民との協働を通じて理解を深め、公共政策のあり方、そしてより良い「社会」の構築に向けた、その第一歩を、本学の公共政策学科での学びの中で培ってほしいと思います。本学での学びが「公共性」という無限の広がり可能性をもつ領域で、創造性豊かな議論の場となることを期待しています。

卒業後の進路

「公共マネジメントコース」は、公務員のように行政面から社会に貢献してゆく人材を育成するために、社会の仕組みを知り、地域の問題を探り、解決策を見出す力を培います。また「社会福祉コース」は、全ての人々が自立した人格として地域社会の担い手となるよう、社会環境の整備を促進する能力を有する人材を育成することを目指します。

公共マネジメントコース

地方公務員(市町村職員、都道府県職員、警察、消防など)、国家公務員、岐阜県コミュニティ診断士、まちづくりNPO法人職員、商工会議所、農業協同組合、生活協同組合、コンサルタント業、小売業、公益法人職員、金融機関

社会福祉コース

社会福祉士、(老人福祉施設、地域包括支援センター、障がい者福祉施設、児童福祉施設、社会福祉協議会、医療機関、NPO法人)等職員

公共マネジメントコースの

特色

**公務員・教養講座、
公務員基礎講座で
根本からみっちり!!**

公務員試験対策科目

授業科目	単位	内容	
現代公務員論	2	公務の役割、公務員の役割、公務員の仕事	
公教養講座	教養講座論文・専門記述	2	文章理解
	教養講座数学	2	数的処理の基礎
	教養講座社会科学Ⅰ	2	地理・歴史
	教養講座社会科学Ⅱ	2	公民・政経
	教養講座自然科学	2	理科
公基礎講座	公務員基礎講座Ⅰ	2	文章理解・資料解釈
	公務員基礎講座Ⅱ	2	一般知能理解
	公務員基礎講座Ⅲ	2	専門科目分野
公務員研究特論Ⅰ	2	専門試験対策(法律)	
公務員研究特論Ⅱ	2	専門試験対策(経済)	

公務員・教養講座

公務員試験を受験する上で必要事項(文章理解、数的処理、社会、理科等)を基礎から徹底的に学びます。

公務員基礎講座

実際に公務員試験問題を解き、本番で対応できる力を養います。

社会福祉コースの

特色

**社会福祉
特別講座A~Dで
完璧な試験対策を!!**

社会福祉士課程科目

授業科目	単位	授業科目	単位
社会福祉原論Ⅰ	2	ソーシャルワーク演習Ⅴ	2
社会福祉原論Ⅱ	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2
地域福祉論	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2
高齢者福祉論	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	2
障害者福祉論	2	ソーシャルワーク実習	4
児童福祉論	2	心理学	2
社会保障論	4	社会学	2
公的扶助論	2	医学一般	2
社会調査	2	福祉行政と福祉計画	2
コミュニティワーク	2	保健医療サービス	2
相談援助の基盤と専門職	2	福祉サービスの組織と経営	2
相談援助の理論と方法Ⅰ	2	就労支援と更生保護	2
相談援助の理論と方法Ⅱ	2	権利擁護と成年後見	2
ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	社会福祉特別講座A	2
ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	社会福祉特別講座B	2
ソーシャルワーク演習Ⅲ	2	社会福祉特別講座C	2
ソーシャルワーク演習Ⅳ	2	社会福祉特別講座D	2

社会福祉特別講座A~Dの特徴

社会福祉特別講座

A

社会福祉士国家試験の概要を学ぶとともに、社会福祉士として実践現場において求められる基礎知識や考え方を学びます。

社会福祉特別講座

C

社会福祉士国家試験対策として、「共通科目」を中心に、必要とされる知識や考え方を学びます。

社会福祉特別講座

B

社会福祉士国家試験対策として「専門科目」を重点に、社会福祉実践現場において必要とされる知識や考え方を学びます。

社会福祉特別講座

D

社会福祉士国家試験対策が目的。上記A~Cで学んだ知識を過去問題や模擬問題を実際に解き、国家資格の取得を目指します。

伊藤先生のメッセージ

message



経済学部教授
伊藤 敏雄

公共政策学科が育成する人材

今次、改組の上、新しく発足する公共政策学科においては、大学創設以来の理念である地域との共生・協働の精神を受け継ぎ、地域社会の優れた担い手となる、福祉・支援施設職員、公務員、教員、法人職員などを育成します。

木村先生のメッセージ

message



経済学部長
木村 隆之

公共政策のすずめ

東日本大震災という未曾有の災害によって、公共政策のあり方が鋭く問われています。「お上が言うから」とか「得だから」といった発想ではなく、みんなで知恵や、情報や、力を出し合って地域、まちづくりを進めることが求められています。どうしたらそんな地域づくりができるでしょうか。公共政策学科と一緒に考えてみませんか。

教員からの メッセージ

菅谷先生のメッセージ

message



経済学部教授
菅谷 広宣

公共政策とは何か

公共政策(Public Policy)とは、民間部門では解決できない公共的な課題に対して、政府や地方公共団体などの公共部門が主体となり、公共の福祉を増進させるために立案される施策や計画を意味します。そうした公共政策の範囲は非常に広く、私が担当する社会政策や社会保障(労働政策、年金・医療・介護政策など)も、これに含まれます。特に公務員を目指す人たちにとっては、必ず勉強しておくべきものでしょう。

佐藤先生のメッセージ

message



経済学部教授
佐藤 八千子

探し物はきっと見つかる

人間としての尊厳・基本的人権が守られる共生の社会をめざして、その方法の学びを共に深めましょう。21世紀の地域社会の中で“一人はみんなのため、みんなは一人のため”を実現するための秘訣を、是非見つけてください。

勝田先生のメッセージ

message



経済学部教授
勝田 美穂

公共性とはどのようなものか。

国や自治体が行う事業は公共事業と言われますが、それだけが公共的なものなのでしょうか。NPO、ボランティアなど多様な主体が参画してつくる新しい公共のあり方について一緒に考えてみませんか。

菊本先生のメッセージ

message



経済学部准教授
菊本 舞

地域や社会を動かす
原動力となる学びを!

いまや「公共」はどこから降りてくるものでも与えられるものでもなく、私たち自身の手で創り出すもの、そんな「公共的なもの」を、まちで具体的な実践を交えながら学んでいきたいと思います。さっと君の学びが地域や社会を動かす力となります!

森先生のメッセージ

message



経済学部教授
森 誠一

地域特性を活用した「地域づくり」

公共政策は、行政が一般者への公共サービスを増大させる施策であるといえます。私は、行政の施策という側面より、「地域づくり」という公共概念に重きを置いています。地域特性を活用した「地域づくり」を一定の根拠をもって実践する仕組みを、学生諸君と質疑応答をしつつ構築します。

新家先生のメッセージ

message



経済学部教授
新家 茂

バリアフリー社会の構築を目指して

バリアフリーは段差を無くすとか、あるいはエレベータを設置するといったことに限ったものではありません。情報格差、差別意識などの障壁をなくすことも意味します。ユニバーサルデザインもそのための設計理念の一つです。皆さんと一緒にバリアフリーな社会を作って行きましょう。

ボーグボール先生のメッセージ

message



経済学部准教授
ボーグボール

世界に繋がる地域社会を目指して

今日の社会に必要な不可欠なのがコミュニケーションではないでしょうか。英語は世界中で広く使われる言語です。コミュニケーションの大事なツールの一つである英語を学び、世界の人々とのコミュニケーションにチャレンジしましょう。

樋下田先生のメッセージ

message



経済学部准教授
樋下田 邦子

新たな公共とは人づくりである

今私たちは、未曾有の大震災や国際化する、多様な文化の混在する地域社会に向き合う姿勢が求められています。公共政策学科では、実践型教育を通して学生の人間力・実践力を養い「新たな公共を担う人づくり」を進めます。

塚谷先生のメッセージ

message



経済学部准教授
塚谷 文武

あなたの夢の実現をサポートします

高校生の皆さん、「公務員になって地元を元気にしたい」、「社会福祉士になって地域社会に貢献したい」なんて考えていませんか? 公共政策学科のスタッフは、その夢を実現できるように学習面、生活面などから最大限サポートします。公共政策学科で、大いに学び充実した大学4年間を共に過ごしましょう。

梅木先生のメッセージ

message



経済学部講師
梅木 真寿郎

「人間性」を起点とした
「公共性」の学び

現代社会が抱える様々な課題について、今、公共政策のあり方が、問われています。私たちの暮らしの中で、本当に「豊かな社会」とは何であるのか。「個人」の尊重を起点とした社会のあり方、そして画一化された社会ではなく、地域の特性を活かした創造的なまちづくりについて、共に学びましょう。

今井先生のメッセージ

message



経済学部講師
今井 良幸

将来の職業…
公務員がいいな、と考える皆さんへ

公共政策学科には、公務員養成プログラムがあり、早い時期から公務員対策を始めることができます。また、地方自治関連の科目も充実しており、特に地方公務員に興味のある皆さんとお会いするのを楽しみにしています。

山田先生のメッセージ

message



経済学部准教授
山田 武司

政策を実現するためには、
一人ひとりへの支援が必要です

ある障がいをもつ方が、施設から出て一人で暮らすことを望みました。しかし、それは叶うことはありませんでした。公共の政策を実現するためには、一人ひとりにあった支援が必要です。そのための支援と一緒に考えていきましょう。

公共政策学科開設イベント

作文コンクール

テーマ 『新しい公共』とは何か
～ つながりで創るこれからの社会～

高校生
作文コンクール

- 対象 高校生
- 募集内容 字数 1,200～1,600字
- 募集受付 7月1日(金)～9月26日(月)
- 表彰 最優秀賞 他
- お問合せ 岐阜経済大学 企画広報課

「新しい公共」とはどのようなものなのでしょうか。ダムや道路建設等の公共事業は、政府が行うことでしたが、東日本大震災という未曾有の災害が起きた今、市民自身が行い、ボランティアなど地域の人々の力が不可欠になっています。国や自治体だけでなく、家族や職場、地域、ボランティア、NPO、ネットワーク上での出会いなど、色々な形のつながりが社会にはあります。このつながりという言葉をもとに、これからの社会における「新しい公共」について考えてみませんか。

シンポジウム

日時 2011年7月30日[土] 13:00～

会場 岐阜経済大学講堂

テーマ 『新しい公共』とは何か
～ つながりで創るこれからの社会～

第1部 講演:北川正恭氏
[早稲田大学大学院公共経営研究科教授・元三重県知事]

第2部 パネルディスカッション

パネリスト(予定):北川 正恭氏 神野 直彦氏、小川敏大垣市長 ほか
コーディネーター:森 誠一 経済学部教授、勝田 美穂 経済学部教授

への取組

情報メディア 学科

今回の強化策の目的、強化点

経営学部では、教学に関する強化策を毎年度検討し、実施してきましたが、2012年度以降入学生向けの情報メディア学科強化策は、情報メディア学科の事実上のリニューアルとなります。

2011年度入学生までの現行の専門教育では、経営・会計の学びと情報通信技術、ビデオ番組や広告・CMなどのメディアコンテンツ制作の学びをバランスよく修得するという方針のもとづいて、教育を行ってきました。それに対して、2012年度のリニューアルでは、経営学・会計学を主に学ぶ経営会計コースと、情報通信工学を主に学んでシステムエンジニアを目指す情報システムコースとを設けて、「両者をバランスよく」から、「コースを選んで徹底的に」への教育方針の転換を行います。

また、広告宣伝、販売促進、市場調査などの分野でのネットワーク利用や、ネットワーク上での映像の公開が急速に拡大している状況をより詳細に把握しつつ、放送やネットワークの分野でのコンテンツ制作を実践していくコースとして、メディアマーケティングコースを新設します。

コース の 紹介

情報メディア学科開講科目一覧

○はコース科目、◎は重要科目

専門教育科目					
分野	授業科目	年次	経営会計コース	メディアマーケティングコース	情報システムコース
経営とビジネス	必修 経営学	1		必修	
	経営戦略論	2	◎		◎
	経営管理論	2	◎	◎	
	経営組織論	2	◎	◎	
	現代企業論	2	◎	◎	
	企業経営の歴史	2	◎	◎	
	中小企業論	3	◎	◎	
	ネットワーク経営	3	◎	◎	
	人材育成論	3	◎	◎	
	国際経営論	3	◎	◎	
	ファッションビジネス	2	◎	◎	
	フードビジネス	2	◎	◎	
	商品開発演習	2	◎	◎	
	ベンチャービジネス	3	◎	◎	
	ソーシャルビジネス	3	◎	◎	
	ケースメソッド演習	3	◎	◎	
	ビジネスプラン演習Ⅰ	3	◎	◎	
ビジネスプラン演習Ⅱ	3	◎	◎		
マーケティングとメディア	マーケティング論	2	◎	◎	
	販売管理	2	◎	◎	
	広告論	2	◎	◎	
	放送論	2	◎	◎	
	ファッションと色彩	1	◎	◎	
	グラフィックデザイン	1	◎	◎	
	映像制作	2	◎	◎	
	音楽制作	2	◎	◎	
	ナレーション技法	2	◎	◎	
	スピーチ・トーク技法	2	◎	◎	
会計と情報管理	スポーツマーケティング	2	◎	◎	
	スポーツ映像	2	◎	◎	
	メディアマーケティング演習Ⅰ	2	◎	◎	
	メディアマーケティング演習Ⅱ	2	◎	◎	
	簿記Ⅰ	1	◎	◎	◎
	簿記Ⅱ	1	◎	◎	◎
	企業会計	2	◎	◎	◎
	原価計算	2	◎	◎	◎
	国際会計	3	◎	◎	◎
	税務会計	3	◎	◎	◎
情報システム開発	経営財務論	2	◎	◎	
	情報管理基礎	1	◎	◎	◎
	情報管理応用	1	◎	◎	◎
	ビジネス表計算	2	◎	◎	◎
	データ分析Ⅰ	2	◎	◎	◎
	データ分析Ⅱ	2	◎	◎	◎
	シミュレーション論	3	◎	◎	◎
	情報と社会	1	◎	◎	◎
	情報と職業	1	◎	◎	◎
	情報技術史	3	◎	◎	◎
情報通信戦略	3	◎	◎	◎	
情報システム開発	コンピュータ科学基礎	1	◎	◎	◎
	アルゴリズムとデータ構造	1	◎	◎	◎
	コンピュータシステム	2	◎	◎	◎
	システム開発論	2	◎	◎	◎
	プログラミングⅠA	2	◎	◎	◎
	プログラミングⅠB	2	◎	◎	◎
	プログラミングⅡ	2	◎	◎	◎
	情報システム設計	2	◎	◎	◎
	情報ネットワークの基礎	2	◎	◎	◎
	情報ネットワークの応用	2	◎	◎	◎
情報システム開発	ウェブ編集Ⅰ	2	◎	◎	◎
	ウェブ編集Ⅱ	2	◎	◎	◎
	CG編集Ⅰ	1	◎	◎	◎
	CG編集Ⅱ	1	◎	◎	◎
	CAD	3	◎	◎	◎

経営会計コース

経営学・会計学はスポーツ経営学科においても重要な学びとして位置づけられていますが、情報メディア学科では経営学・会計学を徹底的に学べるコースを設けることで、学びの特色を明確にしました。

また、ファッションやフードビジネスの商品知識の学習を踏まえた商品開発の実践授業や、ビジネスプラン演習Ⅰ・Ⅱ、税務会計といったより実務的な授業が、情報メディア学科固有の学びとして開講されます。

さらに、ビジネスの力で社会問題の解決を図るソーシャルビジネスの授業も予定しており、地域・社会に密着したビジネスのあり方を実践的に学ぶことができますようになります。



▲フードビジネスの商品試作

メディアマーケティングコース



▲GKBスタジオ
<http://gkb-studio.gifu-keizai.ac.jp/>

ネットワーク時代のメディアを活用した広告宣伝とコンテンツ制作の担い手を養成します。マーケティング論、広告論、放送論などの商学を学び、さらに、ビデオ番組や広告・CMを制作するのに必要なデザイン・映像制作・音楽制作の知識と番組出演の技法を学んで、番組制作を実践します。

制作したコンテンツは、GKBスタジオという学内メディアプロダクションを通じてウェブなどで公開します。

情報システムコース

情報システムコースでは、コンピュータやネットワークの技術知識とプログラミング、そして情報管理やデータ分析の手法に関する教育を行い、ソフトウェア業界で活躍できるシステムエンジニアを育成します。

企業経営や地域振興に情報通信技術を活かすための、学生参加型研究機関であるソフトピア共同研究室で活動することによって、情報システムコースで学んだ情報通信技術のスキルを実際に活かすことができます。現在、ソフトピア共同研究室ではスマートフォンのアプリ開発などに取り組んでいます。



▲ソフトピア共同研究室
<http://softopia.gifu-keizai.ac.jp/>

このように、新しい情報メディア学科では、学びの目標がより明確になり、教室や情報実習室、スタジオでの授業と、教室外、課外の学びとの連携も強化されています。なお、現在、在学中の学生の皆さんに対しては、履修指導などの中で、学びの目標の明確化を図っていく方針です。リニューアルした情報メディア学科の学びに期待してください。

スポーツ経営 学科

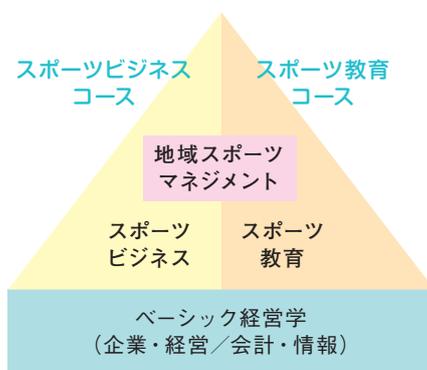


経営学部

強化

今回の強化策の目的、強化点

スポーツ経営学科では、「ベーシック経営学プログラム」、「スポーツビジネスプログラム」、「地域スポーツプログラム」、「コーチングプログラム」の4つの教育プログラムを置き推奨履修という方法でその人材育成を行ってきましたが、人材育成の方向をより明確化し、その育成の強化を図るため、2012年度から従来の4つのプログラムを「スポーツビジネスコース」と「スポーツ教育コース」の2つのコース制に再編します。今回の再編上のポイントは、第1に、「ベーシック経営学プログラム」に配置されていた経営学の基礎科目をスポーツ経営学科共通の基礎科目に再編し、経営学基礎教育の強化を図ること。第2に、履修モデルの推奨学習をすすめるこれまでの「プログラム」を改めて、2つの分野の系統履修を強化するために「コース」制へ変更。また、これらのコース制への再編に併せて、「地域スポーツマネジャー」育成プログラムも強化しました。



コースの紹介

スポーツビジネスコース

経営学とスポーツ科学の知識をもとに、スポーツ用品やスポーツ施設、スポーツイベントのビジネスに関する知識と実践力を修得します。スポーツの知識をビジネス界で活かし、スポーツビジネスの未来を構想できる人材の育成を目指します。



スポーツ教育コース

スポーツの心理学、生理学、運動学といった科学知識を身につけ、心身のトレーニングやコーチングの方法を修得します。スポーツ選手の能力向上やスポーツ競技の振興、地域社会でのスポーツ指導に貢献できる指導者の育成を目指します。

各コースが目指す就職進路

スポーツビジネスコース	スポーツ用品製造企業、スポーツ用品流通企業、スポーツメディア企業、スポーツクラブ、スポーツイベントのプロデューサー、高等学校教員(商業)etc.
スポーツ教育コース	地域スポーツ指導者、社会体育指導者、スポーツ振興団体職員、各種協会・連盟職員、スポーツマネジャー、スポーツアドバイザー、中学校教員(保健体育)、高等学校教員(保健体育)etc.

専門教育科目において、現在注目されている新しい国際会計基準(IFRS)を解説する「国際会計」や環境や貧困といった社会的課題をビジネスを通じ解決しようとする「ソーシャルビジネス」などの新しい科目も加え、両コースとも経営学基礎科目の強化を図りました。コース履修においては、各コース共通科目の他に、「スポーツビジネスコース」は「スポーツマネジメント」科目から、また「スポーツ教育コース」は「人間とスポーツ」科目から各コースに必要なとされる科目及び単位数を修得します。

「地域スポーツマネジメント」は、スポーツ経営学科の両コースを通じて育てようとする人材の質を示すものですが、それを具体化するものとして「CSM地域スポーツマネジャー育成プログラム」を設置しています。CSM地域スポーツマネジャー育成プログラムとは、スポーツマネジメントの知識をもとに、地域のスポーツイベントを企画・運営できる人材を育成する教育プログラムです。実際に地域のスポーツイベントを運営するPBL (Project Based Learning) によって、マネジャーの素養を磨きます。

スポーツ経営学科開講科目一覧

○は重要科目

分野	授業科目	年次	専門教育科目	
			スポーツビジネスコース	スポーツ教育コース
必修	経営学	1		
	スポーツ原論	1		
	スポーツ経営論	1		
	経営戦略論	2	○	○
	経営管理論	2	○	○
	経営組織論	2		
	現代企業論	2		
	企業経営の歴史	2		
	マーケティング論	2	○	○
	販売管理	2		
	ネットワーク経営	3		
	ベンチャービジネス	3		
	ソーシャルビジネス	3		
	中小企業論	3		
人材育成論	3			
国際経営論	3			
ケースメソッド演習	3			
会計・情報	簿記Ⅰ	1	○	○
	簿記Ⅱ	1	○	○
	企業会計	2		
	原価計算	2		
	国際会計	3		
	経営財務論	2		
	情報と社会	2		
	情報と職業	2	○	○
	情報技術史	3		
	情報通信戦略	3		
スポーツマネジメント	地域スポーツ論	1	○	○
	コーチング論	1	○	○
	スポーツ経営実務	1	○	○
	スポーツ経営演習	3	○	○
	スポーツマーケティング	2	○	
	スポーツ組織論	2	○	
	スポーツ産業論	2	○	
	レジャー産業論	2	○	
	スポーツ映像	2		
	スポーツ社会学	2	○	
スポーツクラブ経営論	3	○		
人間とスポーツ	スポーツ行政	3		
	体育経営管理学	3		
	生涯スポーツ論	1		○
	スポーツ心理学	2		○
	スポーツ史	2		○
	生理学・運動生理学	2		○
	運動学・運動方法学	2		○
	スポーツ動作分析	2		○
	スポーツ栄養学	2		○
	レクリエーション演習	2		○
スポーツ実習	トレーニング演習	3		
	障害者スポーツ演習	3		
	コーチング演習	3		
	サッカーC級コーチ演習	3		
	体育授業インターンシップ	2		
	課外授業インターンシップ	3		
	陸上競技	2		
	水泳	2		
	器械運動	2		
	柔道	2		
バレーボール	2			
バスケットボール	2			
野外活動	2			
ダンス	2			



東海学生春季大会にて 1種目優勝、5種目入賞!

男子円盤投

記録 41m15cm
2位 山田 晃広
経済学科1年(岐阜県 市立岐阜商業高校出身)

記録 39m62cm
3位 亀井 浩平
スポーツ経営学科2年(三重県 伊勢工業高校出身)

男子走幅跳

記録 6m86cm
2位 文野 湧綺
スポーツ経営学科1年(兵庫県 明石商業高校出身)

女子走幅跳

記録 5m52cm
3位 増田 マキ
スポーツ経営学科2年(静岡県 島田商業高校出身)

女子やり投

記録 42m54cm
優勝 杉ノ下 葵
情報メディア学科1年(岐阜県 県立岐阜商業高校出身)

男子800m

記録 1分53秒21
2位 久我 アレキサンデル
スポーツ経営学科4年(兵庫県 淡路三原高校出身)

男子1500m

記録 3分56秒09
2位 久我 アレキサンデル
(再掲)



4月10日(日)、知多運動公園陸上競技場にて、東海学生陸上競技春季選手権大会が行われ、陸上競技部103名(そのうち1年生は33名)が出場し、杉ノ下葵さんが女子やり投で優勝した他、男子800mをはじめ5種目で入賞(左記参照)の成績を修めました。陸上競技部にとっては、今シーズン初となる本格的な大会で、1年次生にとっては、大学生としてのデビュー戦でもありました。先輩とともに活躍し、自分も陸上競技部の一員になったことを実感する大会となりました。

川崎監督のコメント
女子ソフトボール部は一年生を迎えチームが本格的に始動しました。メンバーは一年生が主体であり、日々成長の過程にあるチームです。4月3日から岐阜県女子A級リーグ戦が開幕しましたが、このリーグ戦を通してまずは一つでも多くの経験を積みことして自分たちができるベストのプレーをすることがこのチームの目標です。まだまだ駆け出しのチームですので、思いもよらないハプニングの連続の日々ですが、温かいご支援・ご声援、誠にこの指導を頂けたらありがとうございます。

女子ソフトボール部は、昨年4月に発足し、今年度から県A級リーグに参加しています。4月10日(日)にリーグ戦初勝利をあげ、ますますの活躍が期待されます。今後の女子ソフトボール部の活動計画と川崎監督、水谷キャプテンの抱負を紹介します。

キャプテン 水谷 友紀さん
スポーツ経営学科4年
(愛知県 修文女子高校出身)
私たち女子ソフトボール部は今年がチームとしての1年目です。3月に行われた公式戦では、初勝利を修めることができました。今後の試合でも、上級生下級生関係なく、日々一生懸命積み重ねたものをグラウンドで一人ひとりで発揮できたら良いと思います。応援よろしくお願ひします。



女子ソフトボール部
WOMEN'S SOFT BALL

県A級リーグ参加、 初勝利! 2011.4/10



女子ソフトボール部の活動計画

4月 岐阜県A級リーグ 春季大会
5月 東海大学リーグ 春季大会

8月 夏季合宿
9月 岐阜県A級リーグ 秋季大会
9・10月 東海学生リーグ 秋季大会

12月 冬季合宿
2月 春季合宿

2010年度クラブ活動の主な成績

体育会

ボート部

全日本軽量級選手権大会 男子ダブルスカル8位
全日本選手権大会 女子舵手なしペア5位
全日本大学選手権大会 女子舵手なしペア8位
第65回国民体育大会千葉大会
第65回国民体育大会千葉大会
成年女子舵手付きクォドルプル 7位

硬式野球部

東海地区大学野球2010年春季リーグ戦 8勝4敗2位
東海地区大学野球2010年秋季リーグ戦 5勝8敗1分5位

陸上競技部

日本学生対校選手権大会 男子800m 8位
日本学生個人選手権大会 男子800m 3位
第65回国民体育大会千葉大会 男子走幅跳 出場
東海学生対校選手権大会 男子800m 優勝
男子三段跳 優勝
女子走幅跳 優勝

サッカー部

東海大学サッカーリーグ戦1部 4勝2分12敗8位

男子バレーボール部

東海大学バレーボールリーグ戦春季大会 2部優勝(1部昇格)
東海大学バレーボールリーグ戦秋季大会 1部リーグ7位
全日本インカレ 決勝トーナメント2回戦

女子バレーボール部

東海大学バレーボールリーグ戦秋季大会 3部リーグ準優勝
岐阜県大学バレーボールリーグ戦秋季大会 1部リーグ準優勝

バドミントン部

岐阜県学生秋季バドミントン選手権大会 男子団体優勝
東海大学・東海学生新人バドミントン選手権大会 男子団体3部2位
男子団体2部昇格



硬式野球部

BASE BALL

初の海外キャンプ

2011.2/22~2/28



昭和42年の創部以来長い歴史の中で初の海外スプリングキャンプを2月22日から28日までケアンにて行いました。

4年に一度海外キャンプを行ってみたい。どうだろうかとの発想から短期間ではありますが試行してみようと昨夏から計画しました。

練習用具の運搬等諸問題を多く抱えクリアしてゆく為に関係各位にはご面倒をおかけしました。

最大のネックはやはり費用面でした。しかし、キャンプ終了後の部員達の「親に無理を言ったけれど参加し素晴らしい体験ができた本当に良かった」との感想を受けホッとした思いをしました。

レオパレスリゾートの恵まれた施設での練習は思いっきり心身を鍛え、攻守にわたる強固なプレー。緻密なサインプレー等豊富なメニューを予定通りこなしてきました。

大半の部員がはじめての異文化を体験できました。打ち上げはポリネシアンディナーショーにてキャンプを終えました。この成果をリーグ戦で実らせる為にも部員一同頑張りぬく所存でありますので今後もご声援下さい。

【文責：硬式野球部 塚田 勝総監督】

部員の感想、抱負

田原 靖彪さん
スポーツ経営学科3年
(岐阜県 大垣日本大学高校出身)

2月の寒い時期にケアンズの温かい環境で野球が出来る幸せを感じながら練習に励みました。チーム力も深まり私にとっては初めての海外で見聞も広げられました。

この成果を發揮できるように今後も練習に励み結果を残したい。

儀間 裕也さん
スポーツ経営学科3年
(沖縄県 沖縄水産高校出身)

海外は初めてで不安で一杯でしたが、日本にいる時と同じ様に過ごせました。この時期は日本と違い暖かく、プレーをするには良い環境でした。日本より身体が動いてこのような環境ではプレーするのもいいなと思いました。

ケアンキャンプの成果をいかに公式戦で活かすのか常に前向きに取り組んでいきたいと思えます。神宮へ行きたい……



儀間さん▶



田原さん▶



女子バスケットボール部

WOMEN'S BASKET BALL

大垣女性消防隊に7名が参加!

2011.4/20



財団法人大垣市体育連盟から本学に対し大垣女性消防隊養成の依頼があり、女子バスケットボール部の大城紀衣乃さん始め7名が参加することになりました。同隊は、今年10月に横浜で開催される全国女性消防操法大会に岐阜県代表として参加するため結成され、4月20日(水)、大垣市役所にて、大垣女性消防隊発足式が行われました。その式で小川敏大垣市長から、「岐阜県は大会2連覇しており、3連覇目指してがんばってください」とエールが送られました。

- 大垣女性消防隊の隊員
- 大城 紀衣乃 情報メディア学科3年(沖縄県 浦添商業高校出身)
 - 和田 美希 スポーツ経営学科3年(滋賀県 八幡商業高校出身)
 - 鍋島 彩 スポーツ経営学科3年(富山県 泊高校出身)
 - 小橋川 利香 スポーツ経営学科2年(沖縄県 北部農林高校出身)
 - 武藤 有沙 スポーツ経営学科2年(岐阜県 武義高校出身)
 - 玉城 果菜 スポーツ経営学科2年(沖縄県 名護高校出身)
 - 仲本 千晶 スポーツ経営学科2年(沖縄県 名護高校出身)



ソフトテニス部

岐阜県秋季学生選手権大会 3位
岐阜県秋季学生大学対抗選手権大会 団体3位

男子バスケットボール部

岐阜県学生バスケットボール選手権大会 1部3位
東海学生バスケットボールグループリーグ 3部3位

女子バスケットボール部

岐阜県学生バスケットボール選手権大会 1部準優勝

空手道部

第48回スーパーファイティング 成人男子6の部優勝
全日本空手道選手権大会 成人男子6の部優勝
2010スーパーファイティング 成人男子6の部準優勝
岐阜県空手道選手権大会 成人男子6の部優勝

準硬式野球部

2010年度春季リーグ戦 2部4位
2010年度秋季リーグ戦 2部5位

文化会

吹奏楽部

大垣特別支援学校での演奏

VBC(ボランティアバンドサークル)

高齢者施設での演奏

HIGESTARBU

高齢者施設、介護施設でのボランティア活動

マイスター倶楽部

大垣市受託事業「かがやきまちかど講座」

ソフトピア共同研究室

竹田設計株式会社と同志社大学との共同研究「在宅支援システムの開発」

女工が歩いた道を歩く ～飛騨古川から岡谷までの道のり～

情報メディア学科2年 水谷 聡さん

(愛知県
一宮商業高校出身)

明治から昭和初期にかけて、日本には生糸の生産を仕事にする女性(女工)が大勢いました。

岐阜県の飛騨地方にいた女工さんは、長野県の松本市や岡谷市にある工場まで徒歩でたどり着いていたのですが、その道は非常に長く険しい道程で、特に野麦峠周辺は難関だったようです。また、やっとなごで工場にたどり着いた後は、1日12時間労働で病気になることも休ませてもらえない大変な生活だったのですが、彼女たちのおかげで日本の経済は大きく発展しました。

このように、かつてあった犠牲のもとに今の私たちの豊かさがあります。私はこのことを多くの人に知ってもらうために、実際に道歩き、その過酷さとともに当時の女工さんの実態をまとめ、ホームページに公開するという活動をしました。

日程は、岐阜県高山市河合町にある角川駅からスタートし、1日目：高山駅周辺、2日目：高山市高根町、3日目：長野県松本市奈川、4日目：松本市波田、5日目：岡谷市と歩きました。約130kmの道のりです。iPadのマップアプリとGPS機能を駆使して、なんとかあまり迷わずに5日間歩き終えることができました。現在はトンネルや橋もあり、道路も整備されていて歩きやすい状態ですが、私の場合、足の痛みは1週間くらい消えませんでした。当時は未舗装で吹雪が吹き荒れる中、しかも小学生高学年くらいの年齢からこの道歩いていたので想像も絶するほどの過酷さだったのではないのでしょうか。

この旅の記録や女工哀史については公開したホームページ(<http://nomugi.info/>)に写真と共に公開しています。興味を持たれた方は覗いてみてください。



▲塩尻峠。奥は諏訪湖



▲峠の資料館
野麦峠の館内の昔の女工姿

2010年度のユニークプランとして、
個人の部1名、団体の部1団体が認定されました。
ユニークプランとは、独創的な研究・調査等を企画する
学生に対し、活動継続の援助と意欲の向上を目的とする制度です。
大学から一定の助成金額が支給されます。
2010年度のユニークプランを紹介します。

学びのフィールドを 広げて

ユニーク・プラン報告書

地域ブランドマネジメントに関する調査研究

～過疎が進む中山間地域を世界に通用する
魅力あるまちにするために～



団体代表 経済学科3年 西野 靖浩さん

(岐阜県
加茂高校出身)

私はこの大学に進学をするにあたって「将来、地元を活性化したい」と考えていました。昨年度は、その一歩として「地域ブランドマネジメントに関する調査研究」という企画でユニーク・プランの助成を受け、私の出身地である岐阜県白川町での調査研究並びに、大垣市での町のPR活動等に取り組みました。

「地域ブランド」とは、「地域をブランド化することで地域に関わるすべての人々が誇りと愛着を持てるようになること」であると考えています。しかし、地域ブランドの確立には一歩一歩、歩みを進め、地域全体で協力して築き上げていくことが必要です。

そこで、昨年度は白川町をまず「知ろう」と考えました。町の人たちが「何を求め」「何を必要として」「何を誇りに思っているのか」についてのヒアリング調査や「白川町の10年後についてどう思っているかを町に関わる方に書いていただき、ポスターにまとめ町内各所に配布しました。白川町以外のところでは大垣市で対象地域に対する意識調査、町の特産品であるお茶やハムを市内の商店街で販売するなどの活動を展開しました。

私たちの昨年度の活動は、白川町での一つのきっかけであり、今後の挑戦の最初の一歩ではないと思います。昨年度の活動を私たちの白川町での新たな挑戦の第一歩だとしたら、今年度は実践的に白川町を変えていく挑戦の第二歩目にしていきます。

過疎が進むまちでの若者の挑戦は地元の人々にとってはとても大きな期待や希望となります。今後ともさまざまな方の想いに応えられるような企画を展開していきたいと考えています。



▲岐阜県産のケントンをを使った白川ハム



▲白川茶の試飲

調査に参加した学生

- 代表 西野 靖浩 経済学科3年(再掲)
中村 剛士 経済学科3年(愛知県 愛知産業大学工業高校出身)
清水 賢 経済学科3年(岐阜県 郡上北高校出身)
森山 貴幸 経済学科3年(岐阜県 華陽フロンティア高校出身)
林 悠介 経済学科2年(岐阜県 岐阜農林高校出身)

自分らしいキャリアを
創っていくために

2010年度の就職状況総括

例年、本学の就職率は全国的にも非常に高い位置にあり、ランキングで取り上げられる常連校でしたが、昨年度は全国の厳しさが本学にも伝わってきたといえる厳しさがありました。依然として、雇用環境が改善しないなかで、名古屋の有名校の学生も岐阜県の企業に応募するなど岐阜県での競争も厳しさを増しました。1社当たりの採用数が減り、どの会社で採用されるにしても、「勝ち抜く」ことが必須となり、何か抜き出た力を求められるようになってきています。それでも内定率が最終90%を超えたのは、学生諸君の頑張りの成果だったと思います。

本学は、1年次から全員履修のキャリア形成の充実に力を入れ、就職試験対策の勉強にも取り組み、1次試験の合格状況は改善されています。2010年度は、内定を得た4年生が卒業前の1月くらいに就職活動を始めた3年生を指導し、エントリーシートや書き方を中心に指導しました。非常に好評だったので、2011年度は拡大して実施します。

しかし、これらの努力によっても、最終面接まで勝ち抜く力を十分に付けるには足りていないと反省しています。最後まで勝ち抜くには、何か強みが必要で、早い学年からメジャーな資格で2級レベルを取るように、初歩から積み上げて勉強するなど、3年間を通じて強みを育て、そこから就職活動を始めようという取り組みを感づいています。



先輩による指導

2011年3月卒業生
就職率

92.9%



就職特別講座



学内企業セミナー

業種別就職

2011年3月卒業生は、厳しい就職環境下で、公務員・教員・金融関連・スポーツ関連等の企業、医療・福祉施設に就職しました。学生達の活躍の裏には、地道な努力があり、キャリア支援課が主催した学内企業セミナー、金融セミナー、就職活動特別講座、就活サークル等への参加意欲が高く、また4年次においても資格に挑戦する学生も多くなりました。在学生の皆さんも、「先輩に続け」とキャリア支援課を大いに利用してください。

公務員・教員	29人
金融関連	11人
スポーツ関連	8人
医療・福祉施設	21人

就職までのスケジュール

キャリア支援課では、1〜3年次までのキャリア形成の授業を通して知識の積み上げだけでなく、就職活動に役立つ自己分析・業界研究・ビジネスマナー等多くの企画を組み入れています。

企業の採用活動早期化に伴い、全国の大学生が3年次の10月から就職活動をスタートさせます。学生の中には、秋からの合同説明会に参加しているだけで就職活動を行っているという学生もいますが、採用されるには個々の企業説明会に参加してエントリーを行う等、志望の意思表示をしなくてはなりません。長いようで短い就職活動、皆さんは3年次の前期から準備をしておくことをお勧めします。

がんばろう日本!!

～東日本大震災に寄せて～

この度は、東日本大震災で被災された皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。本学の被災者に対する取組として、森誠一経済学部教授の活動や、樋下田邦子経済学部准教授が考える“ボランティア”を紹介します。一日も早い復興を心よりお祈りしております。

森教授の被災地に対する支援活動

森教授は、東日本大震災によって甚大な被害を受けた岩手県大槌町と、自身の研究である「イトヨの研究」関係で長くお付き合いされています。この度、大槌町いや東北地方を復興させようと、研究仲間（研究者や山形県遊佐町、新潟県五条市、東京都など約数十名）と「大槌町復興支援の会」を立ち上げ、募金活動を推進されました。

みなさま、いつもお世話になっております。この場を借りて恐縮ですが震災復興支援につき高配をいただきますと幸いです。今回の震災につき東北や北関東では甚大な被害を受け、私の友人知人も被災され、死亡や行方不明の方もおられ、言葉では言い表せない気持ちです。私自身、3月の多くを在学中にあり、揺れる会議などが幾度もあり、イスや棚を掴むことがありました。

私は、テレビでもしばしば壊滅的な状況が取り上げられる岩手県大槌町と長く付き合いがあることから、「大槌町復興支援の会」と立ち上げ、世話人として募金活動を始めました。自明ながら、背景に政治宗教は一切関係するものではありません。被災地で肉体的動きで支援できないならば、どこかこの場を対象に募金活動することくらいしかできないかと思っただけです。

すでに募金や支援活動されておられる方も多いかと思いますが、当募金につき御案内いただけますと有難く存じます。4月8日時点、開設2週間ほどで、北海道から九州まで発起人参加は200名を超え、本格的な募金活動をしてまいりたいと思っております。発起人参加いただける場合は、私宛にメール（smori@gifu-keizai.ac.jp）に「意思をお知らせいただけますと幸いです。発起人は、当活動に賛同募金いただける方というほどの意味です。なお、発起人・募金者の名簿公開は原則としてするものではありません。

今後本学の実態を鑑みて、下記3つの側面から、この事態に対して全学的な活動ができないかと思っております。

(1) 現地支援活動

特定の被災地に行くこと。私事が絡むかもしれませんが岩手県大槌町を提案します。理由としては、テレビ新聞などでも知られ、その被災規模の大きさ、移動ルートがある程度整備されており、私が避難統括でもある町職員と10数年懇意にしており、正確な情報が入ることなどが挙げられます。この支援活動はすでにいくつかの新聞、テレビなどで取り上げられております。

(2) 物資支援活動

例えば、私が代表の「湧水保全フォーラム」のネットワークである東京都久留米市グループが実践している物資支援の手伝いをするのが挙げられます。こうした民間活動の要請は、仕分け作業などの手伝いで後方支援として参加することも期待できます。

(3) 募金活動

赤十字や行政窓口で募金支援しつつ、プラスアルファとしてある特定の市町復興や停止している事業に直接的に使ってもらえる募金としてのストーリー性が重要です。

以上3つの観点において、学生も何らかの形で参加できるような取組を検討するべきではないかと思っております。

いづれにしても、私は、復興が一段落するまで、地道に支援活動は続けていくつもりであります。よろしく広く周知のほどをお願いいたします。

先日、東京のある会合で上京してきた大槌町生涯学習課長（兼避難統括）によると、定例の朝礼時に、南の方では桜が開花したというアナウンスをしたら、避難所の体育館に歓声のどよめきが起こったそうです。北国の春も近し、となることを祈るばかりです。



樋下田准教授が考える“ボランティア”

樋下田准教授は、自身で指導しているボランティアサークルの「HIGEST☆BU」の学生と協力して、本学卒業式や入学式に募金活動を行い、日本赤十字社に送金されました。HIGEST☆BUは今回の震災の被災者に対する募金活動の他に、高齢者施設や、子どもと遊ぶ保育園でのボランティアなど様々なボランティア活動を展開しています。

樋下田准教授の「ボランティア」に対する考え等を紹介いたします。

人と人との輪でつながる社会

朝、大学に向かう電車の窓から三河湾の穏やかな海を見るのを楽しみにしている。私は東北地方山形の内陸出身で初めて海を見たのが小学6年生の時、酒田沖からひろがる日本海であった。その時、地球に住む人々がこの海でつながっていることに感激し、打ち寄せる波打ち際に、世界がひとつになる平和で幸せな社会を創るう等と壮大な夢を膨らませたのを覚えている。今日、車窓から見る朝陽に輝く三河湾と、3月11日に東北地方を襲った地震、津波をテレビから見る海が同じであるとは思えない。繰り返し流れる悲惨な状況で生活している人々の映像や、店先から水や米やカップラーメンが消えていく日常が同じ日本の中で起きています。そして、何も出来ない無力さに気が付き、被災された地域や人々の映像をただ茫然と見るだけだ。

しかし、背伸びしないで一人ひとりが「できること」を行動に移すことは出来る。大学や街頭での募金活動や必要な物資を提供すること、拠点での物資の仕分けや日常生活での節電等があるが、何よりも大切なことは、この大震災を決して忘れることなく、復興までの長い道のりを支援し続けることではないだろうか。ひとりの人間の力はちっぽけで頼りないが、手と手がつながり、それが大きな輪になると、悲しみや苦しみを包み込む何倍もの力になり、未来を築く元気な力を生み出していく。

私たちは、何か役割を担って生きていくためにこの世に生まれてきた。理髪店を営んでいた理容師は、ハサミと櫛を探して被災された人の髪を切る。食堂を営んでいた男性は、避難所での炊き出しボランティアをする。中学・高校生は、子どもたちに絵本を読み、一緒に遊び元気な笑顔をつくりだしている。これらは、被災された方から被災された方へのボランティア活動である。

ボランティアは、与える側の満足で終結する怖さを持っている。今年度から学内に、ボランティア・ラーニングセンター（ボランティアセンター）が設置される。センターは、活動から「学び」、明日の日本を創造する力を育んだ学生を輩出する機能がある。今回の大震災に関しては、学生が中心となって社会福祉協議会や市町村、現地から被災地で生活している状況について情報を集約し、課題を整理した後に、学内だけでなく大垣市内、近郊市町村に情報を発信し、大学と地域が一体になって支援活動する体制づくりをしたいと考えている。

被災地の復興は、未来を創ることであり、長い支援活動が続くことを忘れてはいけません。千年に一度といわれる地震は、私たちに、これからのような考えのもとに行動するべきか「問う心・学ぶ心」と「人と人との輪でつながる社会」をつくる生き方を教えているのではないだろうか。ボランティア・ラーニングセンターは、社会と大学、地域課題と学びが「学生のボランティア活動」という輪でつながる場でありたい。



入学式での募金活動





ごくささやかな誓い

キャリア形成の目的が「夢の実現」だったとしても、その達成のためには自分をコントロールし努力せねばなりません。何かを成し遂げるのに自分をコントロールする力は不可欠です。

竹内 治彦 教授

経営学部

家族のひと

生まれたのは富山市ですが2歳までしかいませんでした。父は大手生命保険会社に勤務しており、3年に一度転勤を繰り返しました。自分の父親を褒めてはいけません。偉かったのだと思います。大正末に庄屋とはいえ農家の跡取りではなく生まれ、大学に入れてもらえず商科専門学校で学び保険会社に入ったようです。名古屋にも3年いて、当時、支店長だったので、私は今、その会社の名古屋支店長に電話をしてアポを取るの難しいと思います。父に追いつけていないな、もっと頑張らないといけないなと感じています。

私はこの大学では「厳しい人」と思われているかもしれませんが、私の家族に比べたら何の何の、とにかく怖かったです。母は84歳になり、やっと少し枯れてくれて温泉旅行などに連れて行けるようになりましたが、少し前までは、会えば何かと注意されて怖いし腹も立つので帰省の足も速のいたものです。昔の東京の中産階級の人は皆さん厳しかったように思います。ある友人は、父親は大学教授、祖父は日本に洋画を持ちこんだ歴史的画家で、家は青山にありました。遊びに行ったら家の中に公衆電話が1携帯電話のなかつた時代、電話を使いまくる孫たちに立腹されたお祖母さまが導入されたそうです。お借りした旅館の蒲ラシを友人同士混ぜてしまったら、別にしてあげば、また使えるのにもったいない。」とお母さまから叱られました。お金持ちでも物を大切に、駄目なことをすると他所の子でも叱られました。なぜ今の大人は叱らないのかわかりません。感情に任せて怒るのではなく、きちんと叱れる大人でいたいと思います。

キャリア教育事業

本学のキャリアの部長を勤め、もう6年目になります。大学のキャリア教育についてはキャリアのコーナーで書かせていただきますが、今年度は岐阜県の委託事業として、県下の高等学校でキャリア教育を行う事業の採択を受けました。公立高校63校で350回以上の講座を開くことがミッションです。岐阜県の進路指導を調べていたら、ある校長先生が進路指導の根幹は生徒の「自己コントロール力を高めること」と書かれていて共感しました。キャリア形成の目的が「夢の実現」だったとしても、その達成のためには自分をコントロールし努力せねばなりません。何かを成し遂げるのに自分をコントロールする力は不可欠です。

3月11日の2時半過ぎに完成させた書類を持ち岐阜県庁に向かいました。途中、停まっている車がいる気配で変だなと思うにつつ到着したところ、県庁はざわつており、すごい地震だったとかがいました。帰学後、確認すると速報は宮城沖で震度6強と出ていたと思います。津波が来たなとは思いました。その後、知らされた事実は想像をはるかに超えるものでした。1週間後にプロポーザル審査会があり、8件の中から本学の事業計画が採択されましたが、その間、事業そのものがなくなるかと考えていました。有意義な事業とは思いますが、震災対策に比し緊急性が低いのは明らかだったからです。

予定通り、事業は進めさせていただけることになりました。亡くなられた方々、被災された皆さん、数多くの困難な現場で格闘する皆さんに対して、私は私の持ち場で微弱ながらも引き受けた責務を果たすべく努力しましたと心の中で御報告できるよう、精一杯努めて行きたいと思えます。

趣味拝見

趣味はいろいろありますが、陶芸もやっています。電動ロクロでお鉢なども作りますが、寒い冬はこんなのも作ります。招き干支動物シリーズなのですが、どちらかというと、エイエイオーとやっているみたいですね。



第45回(2011年度)入学式を 開催しました。



4月4日(月)、本学講堂にて第45回入学式を挙行し、経済・経営学部、編入学、大学院、留学生別科合わせ約400名が入学しました。

式では、東日本大震災の発生を受けて、黙祷の後、谷江幸雄学長の式辞、土屋嶋理事長が挨拶しました。在学生を代表して、平田智章さん(臨床福祉コミュニティ学科4年 揖斐高校出身)が、「自分から積極的に行動して、後悔のない大学生活を送ってください。」と入学生にエールを送り、新入生代表の杉ノ下葵さん(情報メディア学科 県立岐阜商業高校出身)は、「仲間との信頼関係を築き、共に支えあい、どんな困難も乗り越えていきたい。何事にも真剣に取り組み、岐阜経済大学の学生であることを誇りにもち、これからの大学生活を送りたい。」と抱負を述べました。

式終了後、新入生に対し、クラス別の入学生ガイダンスがあり、学生証の配布や、大学生活での心構え等が説明されました。午後からは、学生会主催の新入生歓迎会が行われ、教員や先輩を囲んで新入生同士が交流と親睦を深めました。



キャンパス 彩々 Campus Saisai

公開講演会「人は一瞬で変わる」を 開催しました。

3月11日(金)、本学講堂において、客員教授でもある鎌田實訪中央病院名誉院長を講師に迎え、公開講演会を開催しました。

テーマは、「人は一瞬で変わる～命・介護・経済を考える～」で、学生や一般の方約500名が参加しました。鎌田先生は、イスラエルの兵士に銃撃されたパレスチナの少年とその父親の話について紹介。少年が脳死状態に陥ったことから、父親がイスラエルの少女への心臓移植を認めたことなどを紹介されました。また、さらに自らの経験から、「人間は強く、あたたかくなることができる。この国にはそのチャンスがあるし、変わらない人はいない。皆と同じことをしない勇気も大事である。」と訴えました。

参加者は、命の大切さ、介護の大切さ、命と介護を守るための温かな資本主義について語る鎌田先生の言葉を熱心に聞き入っていました。



かがやきカレッジを開催します。

岐阜経済大学は、大垣市と共催で開講する生活に役立つ

「かがやきカレッジ」の受講生を募集します。

※受講料 無料

※申し込み

電話・FAX・メールにて希望する講座と氏名・住所・電話番号を岐阜経済大学総務課へ申し込みください

TEL:0584-77-3511 FAX:0584-81-7807

E-mail: soumu@gifu-keizai.ac.jp

※申込み期間 5月16日(月)～

《かがやきカレッジ》

●場所/岐阜経済大学

●開始・終了時間

/18:00～19:30



開催日程	テーマと担当
第1回 6月8日(水)	貨幣の歴史と流通の仕組みについて 高橋 勉[経済学部教授]
第2回 6月15日(水)	景気循環について考える 高橋 勉[経済学部教授]
第3回 6月22日(水)	コンビニエンスの日本の特徴-小売業にもたらした革新とは 岩坂 和幸[経営学部准教授]
第4回 6月29日(水)	コンビニエンスの日本の特徴II-コンビニが抱える今日的課題とは 岩坂 和幸[経営学部准教授]
第5回 7月6日(水)	やさしい財政と税金の仕組み 石坂 信一郎[経営学部准教授]
第6回 7月13日(水)	FRS(国際会計基準・国際財務報告基準)は黒船なのか? 石坂 信一郎[経営学部准教授]
第7回 7月20日(水)	日本経済の行く末は<大垣共立銀行開催講座> 河村 宏明[共立総合研究所 主任研究員]
第8回 7月27日(水)	次世代自動車のある暮らし<大垣共立銀行開催講座> 渡邊 剛[共立総合家研究所 主任研究員]

スプリングオープンキャンパスを 開催しました。

3月20日(日)、スプリングオープンキャンパスを開催し、多数の高校生、ご父母の方が参加されました。

最初に、入試広報課スタッフより、本学の学部、学科や学習支援体制等の説明があり、その後、鎌田實客員教授の講演があり、鎌田先生は、「自分がしっかりすれば、様々な可能性がある。岐阜経済大学は経済、経営、情報そして命(福祉)という人生において大切なものすべて学ぶことができる大学である。」と述べ、参加者の皆さんは真剣なまなざしで鎌田先生の話聞いていました。

その後、本学の授業を体験できるミニ講義があり、経済、経営、情報、スポーツ、福祉の分野から希望の講義を選択しました。午後からは、施設見学や個人懇談が行われ、盛況の中終了しました。



2011年度 オープンキャンパスを開催します



今年のコンセプトは、「岐阜経済大学のすべてを見てください」です。
メインオープンキャンパスでは、在学生が本学に入学した理由・現在勉強していること・下宿生活・クラブ活動・アルバイトなどの学生生活を紹介する「トークショー」、大学ならではの授業を体験できる「ゼミ体験」、情報施設や体育館・図書館・総合グラウンドなど学習環境を見学する「キャンパスガイドツアー」など様々な企画を計画しています。

また、マンスリーオープンキャンパスでは、個別に皆さんの知りたいことにお答えし、見たいところにご案内します。大学選びの一步として岐阜経済大学のオープンキャンパスに参加しませんか。

日程 (時間: ■:■~■:■)

- メインオープンキャンパス 7/10(日)、7/31(日)、8/21(日)、9/11(日)、10/9(日)
- 大学祭オープンキャンパス 11/19日(土)、11/20(日)
- クリスマスオープンキャンパス 12/23(金・祝)
- マンスリーオープンキャンパス 4/16(土)、5/21(土)、6/18(土)、2012年1/21(土)、2/11(土・祝)
- スプリングオープンキャンパス 2012年3/20(火・祝)

会場一覧

開催日	6/18(土)	6/26(日)	7/3(日)
地区	本学会場	沖縄会場	富山会場
会場	岐阜経済大学 大垣市北方町5-50 ☎0584-77-3511	ホテルJALシティ那覇 那覇市牧志1-3-70 ☎098-866-2580	パレプラン高志会館 富山市千歳町1-3-1 ☎076-441-2255
開始時刻	総会:10時 父母懇談会:11時	11時	13時

2011年度親和会総会・父母懇談会を開催します!

ご父母の皆さまと大学との相互理解を深めるため、今年も親和会との共催による父母懇談会を開催いたします。
当日は大学の近況、成績及び就職に関するガイダンスのほか、日ごろの疑問点や悩みを直接お聞かせいただく個別懇談も予定しております。
この機会に同郷のご父母の皆さま同士のつながりも深めていただければ幸いです。
今年も多くの皆さまのこ来場をお待ちしています。

教職員人事

新規採用

2011年4月1日付

出向者

2011年4月1日付

 田中 俊彦 入試広報課長補佐 関西学院大学卒業	 伊藤 嘉人 経営学部講師 日本体育大学大学院 体育科学研究科 博士前期課程修了	 今井 良幸 経済学部講師 名城大学法学部 博士後期課程修了	 石坂 信一郎 経営学部准教授 専修大学大学院 商学研究科 修士課程修了	 塚谷 文武 経済学部准教授 大阪市立大学大学院 経済学研究科 後期博士課程修了	 菊本 舞 経済学部准教授 金沢大学大学院 社会環境科学研究科 博士後期課程修了	 勝田 美穂 経済学部教授 法政大学大学院 社会科学部 博士後期課程修了
 布本 俊一 キャリアアドバイザー	 長瀬 信 キャリアアドバイザー	 勝俣 康之 嘱託(学生課スポーツ振興室) 順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科 博士前期課程修了	 川崎 千明 スポーツ指導職員 日本体育大学大学院 博士前期課程修了	 松原 千里 教務課主事 岐阜経済大学卒業	 富永 和哉 総務課主事 富山大学卒業	 伊藤 範子 学生課主査 (保健室勤務) 浜松医科大学大学院 医学系研究科修了

名譽教授 2011年4月1日付 柿本 国弘 経済学部教授 但馬 末雄 経済学部教授	任用期間満了 2011年6月30日付 菱沼 公嗣 経営学部講師 (特別任用教員) 2010年7月1日~ 2011年3月31日	退職 2011年6月30日付 柿本 国弘 経済学部教授 但馬 末雄 経済学部教授 鈴木 誠 経済学部教授 神谷 拓 経営学部准教授 青山 博光 教務課主事 河出 裕智 キャリア支援課長 三尾 美紀 学生課主幹 (保健室勤務) 大脇 敬太 嘱託 (学生課スポーツ振興室)	昇格配置転換 2011年4月1日付 佐藤 八千子 経済学部教授 准教授 安村 千春 教務課長 教務課長補佐 大橋 雄一 教務課主査 教務課主事 尾崎 和美 総務課主査(総務課主事) 釣 眞丈志 キャリア支援課長 (教務課長) 大江 春彦 教務課主査(総務課主事) 杉本 孝行 教務課主事 (入試広報課主事)	 棚橋 智彦 財務課長補佐 早稲田大学卒業
---	---	--	---	---------------------------------------